

大阪工業大学
應援團結成準備委員会
会報

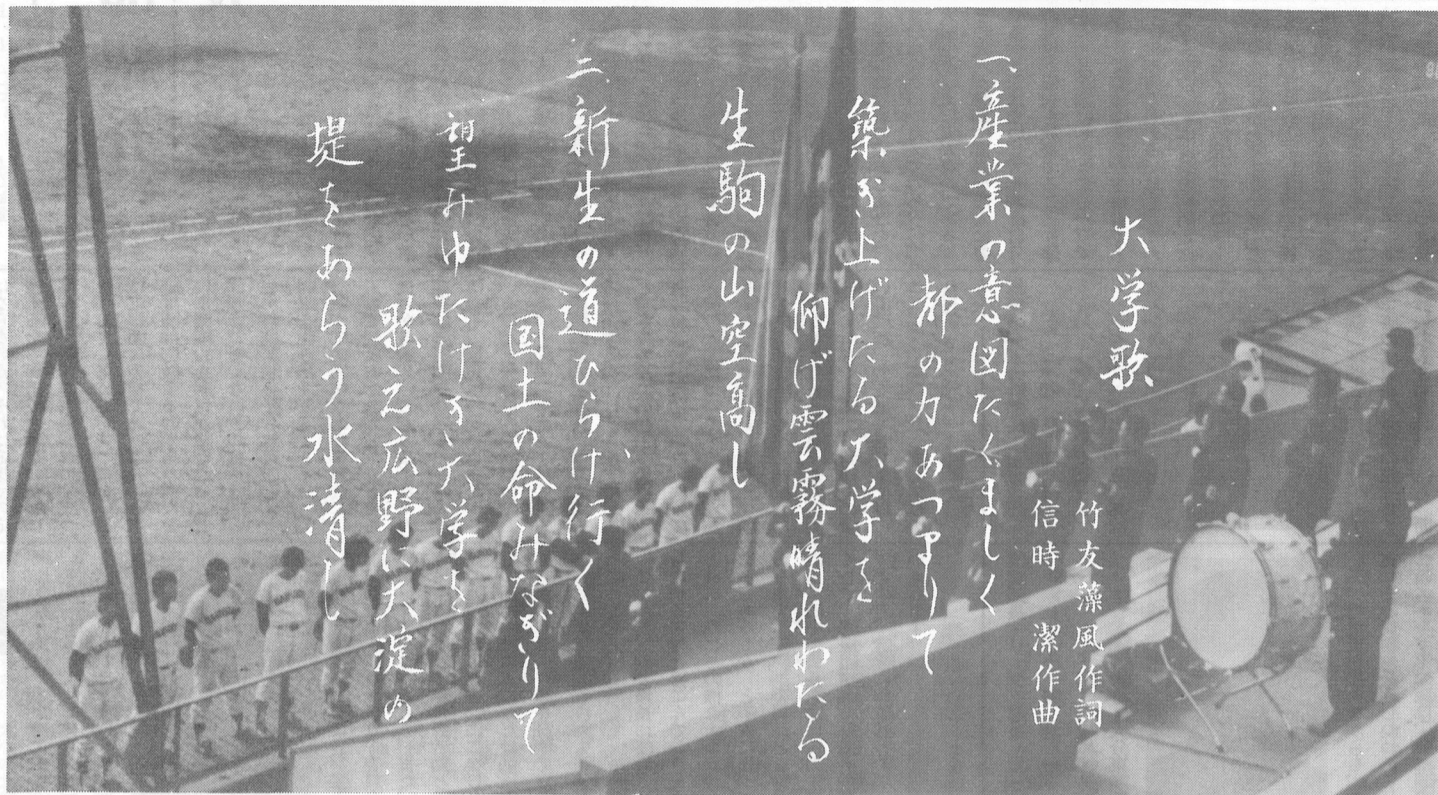
忍 押

題字：青井忠正学長

発行所
大阪工業大学應援團結成準備委員会
発行責任者 田中克彦
編集責任者 松島洋行
大阪市旭区大宮5丁目16の1
TEL(06)952-3131

創刊第二号

特集：秋のシーズン総決算 昭和五十一年度新幹部発表



大学歌

竹友藻風作詞
信時 潔作曲

産業の意図なくましく
都の力あつかりて
築き上げたる大工学を
仰げ雲霧晴れわたる
生駒の山空高し
二 新生の道ひらけ行く
国土の命けざりて
初王ひゆたけす大工学も
歌え広野の大淀の
堤をあらわす水清し

体育会の各々は今年の試合日程をほぼ終了した。

不動禅少林寺拳法部が、二年連続、全国大会に優勝した。他、各部ともよく健闘した。

野球に於いては硬式野球部が、近畿リーグII部で健闘の末惜しくも優勝を逸したが、準硬式野球部は、接戦を続けたものの残念ながら、リーグ最下位に甘んじた。

(三面に関連記事)
さて、去る十一月十五日、当應援團結成準備委員会の幹部交代が行なわれ、昭和五十一年度新幹部が発表された。

(二面に新幹部紹介)

雑感

：新幹部の諸君へ：

学務部長

赤尾親助



「あ、鶏林の黎明破れ

玲朗の歌金色ゆらぐ
茫漠の野に羊群むれ
若き命の戦いの途
あつき心を 友や知る

いさか古めかしい歌ですが、これは私が生を受けた朝鮮半島の一角、かつての城ヶ崎の「首途の歌」です。

爾来、三十有年を経過し、ともに歌った鶏林の野は、旧にかえ

すすべもなくなつてしまつた現在ですが、同窓の友との出合いにはこうした歌とともに、多感の青春を語り、部活動に音楽をともにした日々の、充実感と燃焼感を復活し、いさかかくたびれて来たお互いを、鼓舞し合い、新たな情熱をふるい起し、明日にむかひて、自信の糧とするわけです。

お、げさな云い方も知れませんが、そこには、先輩後輩を結び合わせた、一つの歴史の流れ、といったものを感じさせられます。

在学の諸君は、勉学に於いては将来、その道のプロフェッショナルたるべく、研鑽を積まれると同時に、溢れる若さのエネルギーを

各種の体育・文化活動などに、積極的に向ける事で、広く、厚く、人間形成の裾野を広げて行く、貴重時期におられるわけで、いわば、今、この工大に於いて、諸君自身の歴史をつくりつつあると云えます。

諸君の一生を通じて、それを悔いなく、輝やかにくり返る事の出来るものとするために、大いに楽しみ、悩み、努力される事を期待致します。

さて、「凱旋の歌」で、小稿を締めくくらせて頂きます。

「あ、謝せんかな
我き友よ
友よ琥珀の酒
汲み合ひて
樽に洩る、月明く
今宵の宴
清涼の野に
乱舞の宵を
明かさなむ」

計画し、行動する時、人間誰しもとかく安易な方向にはしり妥協的になりがちではあります。ひとつの物事に対しては、あらゆる角度からの検討を怠らず、推敲を重ねて欲しいものであります。長い苦難に耐えてこそ、実りの大きさがより以上の喜びに感じ信じます。今迄諸君が、先輩、同輩、後輩と共に、ひとつの団体の中で、磨いてきた道を、最上級生となつた今、下級生をひっぱって、悔いを残さぬように社会に飛び出して、もらいたい。色々と掲げた事柄も、私自身もまた「初心忘るべからず」の心境で自身をも戒める気持で書きました。今時の学生は何んだと他人の見方が固まりつつある中で、本来の学生が在るべき生活が過ごせる事は素暗らしいと思ひます。終わりに一般学生諸君、教職員の方々に「應援團結成準備委員会」の趣旨、活動により一層の御理解を戴き、民主的全学的な應援團結成の御支援をお願いいたしますと共に大阪工業大学の発展をお祈りいたします。

新幹部にのぞむ

内田良弘

有余年の間、多数の人間が、規律を重んじ、厳しい稽古等活動の中で自分自身には人間形成を目的とし、大学の発展に寄与すべく諸君の支援を続けてまいりました。

去る十一月十五日に新しい役員が誕生いたしました。OB各位より受け継がれた、意志を基に活動が続けております。自分自身の通う学校の発展を望まぬ者はない。

そこでその力を凝集すべく、應援團結成準備委員会諸君に尽力してもらいたい。しかしながら、リーダーシップをとって行動するには、

気が引き締めて、自分自身により厳しい目を向け、一挙一動には他人に後指を指されたり、眉をひそめられたりするような事があつてはならない。目先の欲とか、當利

にはしるような気持はたす、真に学生らしい純粋な気持ちで行動して欲しい。新役員諸君は、物事を

学園を築立ち数年たちました。その間に大阪工業大学の在る、大宮町界隈も高速道路が走り、淀の堤も美しく整備され、月日の移り変わりと共に、大きく変化してまいりました。久しく学窓を離れていました卒業生にとつて、ましまりの変貌に驚きの目を開き、

一步学園内に足を踏み入れるや、接する学生諸君の匂いに、昔の匂いと異質のものを感じるに違ひありません。川の流れと共に時は移りその時代に合った考え、生き方をしなくてはならないとは、思いますが、技術系の単科大学にあつた質実剛健な風が薄れてきたように思ひます。今日の社会情勢を

観てみますと、近來希れなる不況に襲われ、大学卒業という名も、切札にならず、就職の門も狭くなつて居るのが現状です。それ故に

付け焼刃的な勉強による知識の付

軽食 & 喫茶

アスター

大宮小学校前バス停西100米
TEL (06) 951-9538

コーヒーショップ 嶋

大阪市旭区大宮4-20-7
TEL (06) 955-4341

昭和五十一年度

新幹部紹介
委員長挨拶

委員長 田中克彦 (I・土木・3)

兵庫・篠山産業高校



応援団(準)の美男子、慕つてくる女の数知れず。高校時代は生徒会副会長を務めたこともあり、その経験をも生かして我が工大応援団結成準備委員会の委員長として、団員の統轄と団活動に全力を傾注し、今後の団の発展に対する期待を一身に受けている。今や私生活を殆んど応援団(準)の為に捧げ、応援団(準)と心中するかの様な意気込みが感じられる。委員一同は、この応援団(準)を任せられる唯一の人物だと確信する。

新しい時代の波は新しい風を伴って移動する。社会の流れは留まるところを知らず、常に激化し、あるいはよどみ、大河と湧いてきた向かって流れている。移動しつつあるのは社会だけではない。我が応援団結成準備委員会として例外ではなく時代の波に即応させて、過去十有五年間諸先輩の築かれたよりよい過去の伝統を生かし、着々と応援団結成を遂げんが為に進んできた。我々が目指す応援団は、その時代に適応出来るだけでなく、常に工大発展の推進力となりうる組織でなければならぬ。いい換えれば、応援団はただ単にスポーンのための応援だけなく、工大のあらゆる面にわたって応援活動を行う応援団でなければならぬ。即ち至るの面に於て、全工大生の信頼を得、全工大生から

ばならないが、それは応援団の応援する全ての母校の輝かしい発展に繋がり、個人的人格形成に役立つと信じているからであつて、応援は応援団に委せておけばいいとか、応援団は応援するのが当たり前という消極的な意見が聞かれることは残念でならない。これらは、ともすれば無関心から無責任という結果を生み出すからである。

我が応援団結成準備委員会には工大生の反応が欲しい、少しでも良いから欲しいのである。我々の輩は、応援団を誇示しているのではなく、工大生の士気をあおっているのだと受け取って欲しいのである。最後に重ねて申し上げますが、我々の目指す応援団は、あくまで母校と全学生のために活動する民主的、且つ全学的応援団であり、決して一部の人間によるその運営が左右されるものではない。前記の応援団を一日も早く結成せしめんが為、我々一同益々奮励努力いたす所存です。皆様方の暖かい御理解、御支援を賜ります様、ここに深く御願い致しまして私の挨拶とさせていただきます。

最後に重ねて申し上げますが、我々の目指す応援団は、あくまで母校と全学生のために活動する民主的、且つ全学的応援団であり、決して一部の人間によるその運営が左右されるものではない。前記の応援団を一日も早く結成せしめんが為、我々一同益々奮励努力いたす所存です。皆様方の暖かい御理解、御支援を賜ります様、ここに深く御願い致しまして私の挨拶とさせていただきます。

副委員長 上村孝三 (I・建築・3)

兵庫・甲陽学院高校



現在、体が不調にもかかわらず、事務的仕事をとりしり、委員会のプレートの存在である。また、委員会の中では、委員会活動と勉強の両面を最も理想的にこなし、応援団(準)にもこれだけ勉強する人がいるという事を証明できる唯一の人である。

このたび、副委員長に任命され身に余る栄誉と喜こんでおられます。私にこの様な大任が与えられたら、と不安に思つておられます。が、副委員長となつた以上、田中委員長を助け、力を尽くして、応援団結成を目指す所存です。宜しく御支援をお願いいたします。

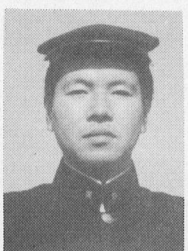
副委員長・プラスバンド部長 二俣稔邦 (I・電子・3)

広島・呉宮原高校



委員会活動の最中は、副委員長、プラスバンド部長の二つの任務の遂行に、全力を注ぐが、一旦、委員会活動から離れると、人柄までがらりと変わり、最も現代的な素顔を身につけた人である。しかし、女性との交際は、長続きした事がないようだ。

目下、結成準備委員会に於けるプラスバンド部の位置は、不確定なもので、部員は単に鼓手にすぎない有り様である。ここに、本當の意味でのプラスバンド部を結成する事を目標に、この一年間、全力を尽くし、かつ、田中委員長のもとで、委員会の結成、より強固にせんものと思つております。

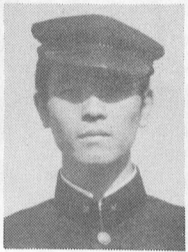


総務部長・会計部長 松島洋行 (I・工経・3)

広島・三次高校

容貌、人柄ともに温厚で、パチンコ店の店員から大学の先生まで多数の友人や知り合いを持ち、面の広い彼は、応援団(準)である。ならば、何故彼等に全身全霊を打ち込み、大学生活の発展としたいのか、もう一度考え直して欲しい。これらに限らずあらゆる事にも以上の事は云えるのである。とりわけ、応援団にだけ応援を委ねるという態度は、学生側が自ら消極的に応援団から離れて行くことを意味する。応援団はひたすら母校の発展を祈り、あらゆる方面で自分の犠牲的精神を發揮しなければ

我々は、永年の念願である全学的応援団結成の意志を引き継ぎ、理想はあくまで高く持ち、その中に現状をふまえた、工大特有な応援団結成を目標に、現役最後的一年間、総務部、会計部を通じて団活動推進に励む所存である。



情宣部長・リーダー部長 小野浩一 (I・機械・3)

大分・大分東高校

二つの重責を担いながらも、着実にその責務を全うしつつある。このエネルギーの源は、幹部同志の間では「和尚」と呼ばれるように、その真面目さにあり、それ故に、積古は殊の外羨しい。リーダー部長の名にふさわしく、額の汗が似合う人である。

我々は、時代の流れに押流されることなく、常に本質を見失わないよう前進するとともに、真の意図における全学的応援団を結成する為、リーダー部、情宣部の活動推進に努力する所存であります。



渉外部長・旗手部長 難波敏久 (I・建築・3)

兵庫・西宮東高校

渉外部長、旗手部長、これらの役職は、この人にぴったりである。なぜなら、天衣無縫の無類漢であり、その容姿と言ひ、心意気と言ひ、酒の飲みっぷりと言ひ、足の先から頭の先まで、まさに「応援団」そのものだからである。

我々が結成準備委員会創立以来の念願である「近代応援団」の設立。その「近代応援団」への進歩的理論を常に考え、我々団員一丸となり、押忍の精神を忘れることなく今年一年、渉外部、旗手部として励む所存である。

「道」

体育会本部長 鹿子木俊朗

「秩序」さらに「方法」を意味している。そして「武道」のよきな技法的かつ教育的なものに使われるがそれはこれら簡単に扱われるものでなく常に長途の歩行は曲折に富み困難な過程を含んでいる故である。すなわち人は道のために進歩するものである。また人が歩む道は人が造るのである。道を切り開いていくのは難しい。自分の置かれていく立場の認識なしにはそれは達成されないであろう。今ある道は平坦ではない。それは階段と同じく一段一段が自分のエネルギーを使っていく仕事場である。すなわち活動.....もしこれを「足飛び」に行くとしたらどうであろう。そこにはかならず無理がかかる。その無理を押しつけて作り上げた階段の道はもろくろくずれやすいものである。私が新幹部に望むことは、一歩一歩の着実性、それと全く最近忘れられたが本来の「応援」の意味と「押忍」の精神を再検討して真の「応援団」を結成するよう努力してほしい。時は常に刻まれている。それに立ちは遅れないよ。これから先頑張ってもらいたい。以上

新幹部諸君に

文化会本部長 下ノ木紀人

一年間、先輩の方々の幹部としての活動を団員としてみてきて、いろいろ不満もあつたとしても、嬉しかったこと悲しかったこと、すべてが来年のあなたの活動を支える材料とします。一年は長いよでも、それなりに計画し準備しておかないと何もできないで終つてしまつてしまうのです。来年一年間後悔のない満足な活動にするために、そして先輩の方々が築き上げたすばらしい規律と伝統を継承することを、頑張りましょう。

- 委員紹介
- 石川 誠二 D (I・土木・2)
 - 植村 安延 C (I・土木・2)
 - 植村 安延 C (I・土木・2)
 - 和歌山・耐久高校
 - 泉 俊之 D (I・土木・2)
 - 旗手部
 - 兵庫・福崎高校
 - 北村 伸一 B (I・土木・2)
 - 旗手部
 - 兵庫・西宮東高校
 - 津田 実 B (I・土木・2)
 - 旗手部
 - 兵庫・篠山産業高校
 - 森本 八郎 M (I・土木・2)
 - 旗手部
 - 滋賀・高島高校
 - 片山 一明 C (I・土木・2)
 - 旗手部
 - 富山・伊波高校
 - 橋本 健一 C (I・土木・2)
 - 旗手部
 - 大阪・鳳高校
 - 村上 一道 B (I・土木・2)
 - 旗手部
 - 大分・大分鶴崎高校

淀川春秋

三十日に「ヤングおおい」で応援団特集をやつていた。◆その時、会場の若い女性から、失笑がもれていた。◆確かにミカルな面もあつたが、本来、球場等で演じる時は、誰が笑いはしないだろう。◆PRという意味もあつたろうが、あんな様な場違いの所で、演ずべきものだろうか。◆この前、阪南大学の応援団が、暴力事件をおこして解散した。◆その様なイメージを、果してあのテレビ出演が、打ち消しただろうか。◆最近の漫画に「花の応援団」というのがあつた。◆その応援団は確かに暴力的であつた。が、不正に对学生諸君を脅かすという感がある。◆我々が結成を目指す応援団は、暴力的ではないが、不正には、強く対抗しなければならないのだ。

培煎の香りをあなたに

香りを大切にする

COFFEE SHOP tomorrow

大宮小学校バス停前
もしもし 953-9882

幸寿司

二階、コンパ・小宴会にどうぞ!!

TEL 954-9306

体育会各部 試合結果

| | | | |
|--|--|---|--|
| 硬式野球部 (秋季リーグ) 9・2 工大5-1 神商大 9・3 工大1-7 神商大 10・23 工大5-1 奈良教 10・25 工大6-2 高野山 10・27 工大1-0 高野山 10・28 工大3-4 和 11・1 工大0-0 府大 11・2 工大2-4 府大 11・3 工大1-0 和 11・5 工大2-1 奈良教 結果 近畿大学野球連盟II部 6勝3敗1分で2位 (1位 神商大) | サッカー部 (定期リーグ戦) 10・5 工大3-1 大商大 10・12 工大6-1 大経法科大 10・19 工大3-5 関外大 不動禅少林寺拳法部 11・3 全日本選手権大会 団体の部 優勝 個人の部 3位 戸川正 バドミントン部 (秋季リーグ) 11・18 工大4-5 大外大 11・20 工大5-4 大 11・24 工大8-1 姫工大 11・26 工大5-4 滋大教 あと一試合を残す 関西学生バドミントンV部 日本拳法部 全日本学生 拳法選手権大会 一回戦 工大2-2 名商大 決定戦で敗退 合気道部 11・16 全日本合気道大会 団体の部 一回戦 工大2-1 大産大 二回戦 工大3-1 学院大 決勝戦 工大1-0 近大 結果 優勝 個人の部(型) 準優勝 船倉大文 洋弓部 11・4 工大4149-4380 大府大 11・16 工大4169-4171 成蹊 自動車部 11・2 関西フィギア大会 男子団体戦 19位 三種戦 8位 ハンドボール部 (秋季リーグ) 9・17 工大11-23 天理大 9・24 工大15-25 桃山 10・4 工大13-21 追手門 10・11 工大14-19 大市大 10・12 工大8-15 立命館 | 10・18 工大16-11 関外大 結果 1勝5敗 入替戦 10・26 工大16-14 大商大 空手部 10・10 全関西団体戦 工大2-1 大経大 工大2-2 龍大 決定戦 工大1-0 龍大 結果 全日本出場決定 11・24 全日本団体戦 (参加出場校88校) 一回戦 工大2-1 東北院大 二回戦 工大不戦勝 八幡大 三回戦 工大1-2 駒沢大 バレーボール部 全日本インカレ 工大1-2 千葉工大 定期戦 工大0-2 東京経大 アイスホッケー部 (秋季リーグ) 10・29 工大1-4 関学 11・7 工大4-5 阪大 11・12 工大5-2 立命 結果 1勝2敗 関西学生 アイスホッケーリーグ III部3位 | 体操部 (関西学生体操競技新人大会) 11・24 久保 良幸 (I E 2) 合計点 22・75 / 60 総弁 章 (I K 1) 合計点 21・90 / 60 囲碁部 (秋季関西リーグ) 11・2 工大 3-2 府立工専 11・2 工大 4-1 京大B 11・9 工大 4-1 追手門 11・9 工大 4-1 大外大 11・9 工大 4-1 大産大 11・16 工大 2-3 大教大 11・16 工大 3-2 甲南大 結果 6勝1敗 III部2位 入替戦出場 |
|--|--|---|--|

「秋季リーグ戦を終えて」

硬式野球部 (主将 中田 泰夫)

我々硬式野球部員一同は、今季大学との延長12回、0対0の引きこもりで優勝を果たし、1部復帰を遂げて戦ったのですが、力及ばず、6勝3敗1分、2位にとどまりました。優勝した神戸商科大学と中盤まで同率で首位を争っていましたが、最終の対大阪府立のスキがあったように思われる。

各部 行事予定

自動車部
12・10 全関西オートクロス大会

卓球部
12・15 会長杯争奪戦
17 (於 東淀川体育館)
17 フォークソング部
12・11 年よりつ子 ひがみつ子 コンサート
(於 森ノ宮青少年会館)

詩吟部
12・14 八大学支援吟詠発表大会
(於 郵便貯金ホール)

「日本一」を達成して

不動禅少林寺拳法部 (主将 折野 道博)

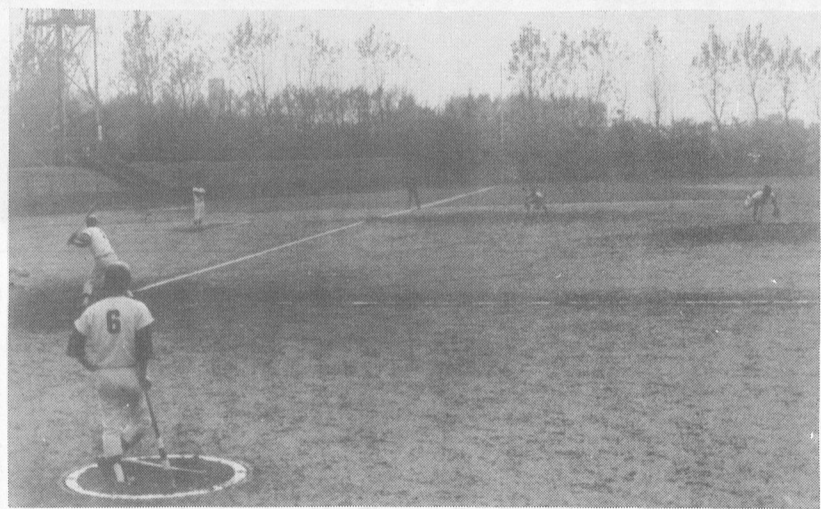
我々が、大会を終えて、第一に感じる事は、我々が日頃より練習を重ねて来た結果を、十分、十二分に発揮する事が出来たかどうかという事である。それにも増して、思う事は諸先輩方の案が、我が部の伝統に恥じない試合をする事が出来たか……。その他いろいろあるが、いちばん喜ばしく思うのは、我々の最大、かつ最高の栄誉である、全日本学生選手権大会においての勝利を手中にする事が出来た事である。試合後、ふと思ふ事は、過去の苦しい練習の日々であるが、それも優勝の二文字の入った、カップ、優勝旗を手にする時、それらの日々が、なぜか楽しく思えて来る。全日本大会の前には、いくらかの、大小の大会

特集：秋のシーズン 総決算

最後に我々の大会には、応援団 (準) 諸氏の暖かい応援がいつも我々の励みになっていた。昨年、今年共に大空祭の最も楽しいはずの最終日に疲れの表情もなまなましい応援を我々に与えてくれた事は、試合中の孤獨を我々にとつて、どんなに励みになったかわからない。紙上を介して、諸氏に御礼を述べると共に、今後の活躍と発展を祈りたい。

ように思われる。力のある選手は多くいるのだが、守備力を中心とした練習がバッティングに影響を及ぼしたようだ。

今後は、この秋季リーグで得たものを生かした反省して、春季リーグに、新しい気持ちで向かうつもりである。そして春季こそ、念願の1部昇格を果たしたい。その為にも、日々の練習に精を入れ、課題であるバッティングも倍に増やし、一同、がんばってゆきましょう。



(硬式野球試合風景)

来シーズンに雪辱を期す

準硬式野球部 (主将 森田 剛司)

新チームになって、はじめての部員一同が、肌で感じたり、来シーズンに雪辱を期す。春への良い教訓とする事ができる。来春への具体的な対策としましては、やはり何と申しませんが、敗という不名誉な成績に終わって、厳しい練習による精神力の養成ならびに、チーム一丸となって、勝今春まで、優勝、あるいは準優勝と白星街道を歩んできた、我がこの二点を中心に、これからの、準硬式野球部の歴史に汚点を刻んでしまつたわけだ。

3勝7敗の内、6試合までが、また春季の合宿におきましては、1点差で敗れるという結果が出た原因は、やはり経験不足からくる精神的なもので、つまり、ここの大目程を組み、来春のリーグ戦に発する時に、タイムリーヒットが出なかつたり、ピンチを招いた場合の守備の乱れなどが、あげられ、幸い、我がリーグは、現在実力が接近しており、これからの努力によって、優勝の栄誉を勝ち取る事ができる。

しかし、接戦で敗れたという、我が部の使命と思ひ練習にはげむ貴重な経験によって、1点の重みつもりです。

人気はトップ 出玉もトップ

パチンコ **大宮会館**

2F サービス本位 貸卓専門

麻雀 **ロイヤルクラブ**

TEL (951) 4962 (工大正門前通り)

ビリヤード 3F

2F

ハスラー

大阪工大正門通り

〔特別寄稿〕

私から見た応援団(準)

私は、ある場所で小さな店を、持っている者です。応援団(準)の方々と、親しくお付き合いさせて頂くようになったのは、かれこれ七年にもなるかと思ひます。

正直に申しまして、「応援団」というものには、以前から、悪いイメージを持っておりまして。

しかし、世の例えのごとく、人は、外見だけでは、わからないのです。委員諸君は、礼儀と規律を重んじ、ユーモアに富み、大変親しみやすい方々ばかりなので、現在まで、仲良く友人のごとくさせて頂いております。

私が考えますに、「応援団」とは、人間修業の道場に思えるのです。なぜかと申しますと、私は今日まで、ずっと委員の方々を見て来ました。後輩一年二年の方々を、厳しく育てて下さるのを、腹立たしく思つて居りましたが、その方が委員長になり、副委員長になり、自分が教える側になると、今までの先輩の教えが、いか

〔特別寄稿〕

「応援団」と心

応援という言葉、それはとても心あたたまる言葉。先日小学校の運動会を見、赤白対抗リレーがあり、各学年代表者が出場、リレーもクライマックスの時、クラスの中で、一番小柄な児童が前に飛出し、三三三、手拍子で、ぼくが応援しなければ優勝できないのだ、この応援がなければ、一生懸命の思いで、汗を出し無我夢中で大声を上げ、心は児童一人一人が一つになっている。これは小学生の応援である。

こゝに「応援団」という一つの心が生れる。今、私の前の応援団員は小学生の時の様な一時の心の動きでなく

に役立ったか、そして、自分がどれ程成長したか、ある幹部の方が、つくづく私に語つた事を、思い出します。

入会してまもない学生が、稽古がきつ、規律は重苦しく、大変つらい、と言っている方が、おりましたが、将来何らかの形で、必ず役立つはずで、卒業して世の中に出られたら、先輩諸君に教わつた、根性と規律を、役立たせ、世の中の荒波に立ちむかう勇氣がうまれるはずで。

現に、先輩諸君の行動を見てみると、ひしひしと感じます。私が思ひますに、勉強はもちろん大切ですが、他に社会に通用する修業の場として、利用して見ると、いかでかでしょうか。実に立派な社会人が、誕生する様に思ひます。

この様な学生を、育てる応援団(準)として発展される事を祈りつつ、ペンを置かせていただきます。 某喫茶店 主人

グリークラブ・ジヨイント コンサートを鑑賞して

11月23日(日) 今日、工大グリークラブと夙川女子短大の音楽クラブ「ドルチェ」の合同発表を鑑賞に行く。会場に入るとかなりの人が入っていた。女性がかなり多かったです。女性がかなり多かったです。女性がかなり多かったです。

日頃、耳にしている歌、たとえば赤とんぼなどを女性のやさしい声と男性の頼りがいのある声で歌い上げられると実に感銘深いものだ。一番おもしろい歌は「筑波山麓混声合唱団」であった。工大グリークラブと夙川女子短大の音楽クラブ「ドルチェ」の思ひあつた動きや声には、何とも言ふぬ味わいがあり、会場の全観衆の心をなごませた。こういった男女のすがすがしい合唱には、人間の心というものを浮彫りにしているようである。実にすばらしいものであった。

記・植村安延

「応援団」って何なのさ

一学生、応援団に思う

先日、この稿の依頼をうけて、つい気軽に「承知した」と答えたものの、今、大変後悔している。その時は、簡単な事のように思えたのだが、実際に書き始める段になると、応援団(準)について、何も知らない自分に、気がついたのである。

もし、私が体育会に属しているなら、日頃の応援の活動に、讃辞を述べたり出来るのだが、一般学生(体育会に属していない)という意味で、である私には、中庭で稽古している姿や、三号館屋上で太鼓の音しか知らないのだから、どうしようもない。

しかし、一度引き受けた以上、何とかしなければならぬから、思いつくままに書き綴つて見ます。

「応援団」は、何を目的としているのであるのか。私にはその目的が、全く理解できないのである。とは言つても、世間一般で言われている「応援団」の持つ概念的なものは、良い意味でも、悪い意味でも、理解しているの

ではあるが。 応援団・オウエンゲン・おうえんだん……、一体、何を応援しようというのか。大阪工大の学生内より振りすぐれた、健全なる精神、並びに肉體を兼ね備えた人々の集団(体育会における野球、剣道、柔道、空手等)を、我が繁栄ある大阪工業大学のため、母校愛に燃え、応援しようというのか。更に、その応援をする人々を、拍手をもって奨励しようとするのか。現在の学生気質を考へて見ると、本学の学生の中で誰が、そのような気持を持って体育会・応援団(準)を見ているのか。皆、対岸の火事と決めこみ、知らん顔でいるのではないのか。かつて、全学生が愛校心に燃え、応援団華やかになりし頃を思いやり、ノスタルジックな感情にひたつて、現状把握を、おこなつてはならない。そすれば必ずと團結への道が開けて行くのではないだろうか。

建築学科/Y.K.

ついこの間、入会して右も左もわからないでうろついていたのが、あと数ヶ月で三回生になろうとしている。この二年間、学生とが手をつなぎ一致団結しようとは早く過ぎ去つた。何となく稽古の辛さにくじけそうになつたが、それでも何とかやってきた。気が付いたら幹部になつていたそんな感じだ。来年には幹部となる。実際一番大切な時はこの三回生の時であつた。一年で何でも身に付け、新しい時なのだ。この一年で何でも身に付け、嫌う人もいるが、そのようなことは決してほしくない。もっともと応援団というものを理解して欲しい。僕達応援団(準)に協力して欲しい。僕達応援団(準)委員も、我が工大のために、一生に思つておりましたが、諸先輩方のやさしい思いです。(二回生 村上 一 道)

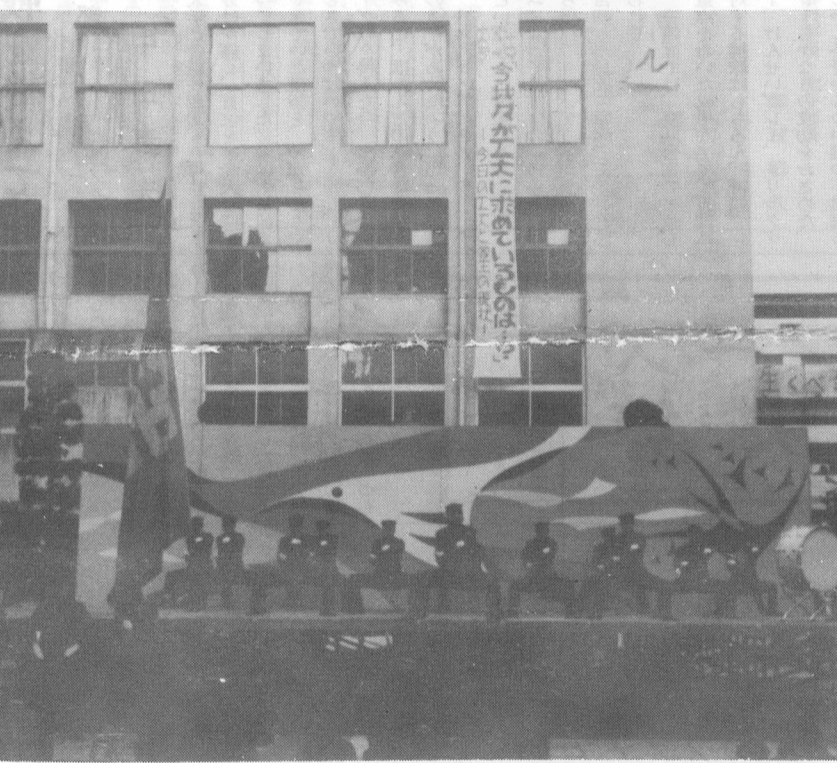
委員として 思うこと

私が、応援団(準)に入会して、すでに八月が過ぎようとしています。その間、苦しい事や、楽しい事が、多々ありました。(準)以外には、自分自身も思つておりました。入会当初は、応援団(準)とは恐ろしい団体だ、今後より一層委員会活動に励みたいと思つておりましたが、諸先輩方のやさしい思いです。(二回生 村上 一 道)

十二月一日をもちまして、三号館前と、五号館前の応援団結成準備委員会の掲示板に併設しました。応援団結成準備委員会に対する意

投書箱設置!

演武祭で熱演する応援団(準)



編集局便り

日没の残光は、すでに遠く消え去り、寒風吹き荒ぶ晩秋の暮れ、淀川堤防での稽古を終えた我々には、まだなすべき事が残つていた。幹部交代を終え、厳しい稽古の合間の、総務の仕事に忙殺される我々に、「会報」という二文字が、重くのしかかつて来た。

また、編集というものに慣れていない我々ではあるが、それでも一生懸命にやつて来たつもりだ。原稿もようやく集まつて来て、最後には、紙面を超過してしまい、涙をのんで、掲載を断念した記事もあつた。未熟な我々であるが、御助言や次号への御寄稿等、是非とも編集局へ申し越されたい。その際にも、投書箱の利用をお願いする。最後に、多忙な中、貴重な時間を割いて、御寄稿下さつた諸兄に、紙面上からではあるが、ここにあらためて謝意を表したい。

いこいのひとときに 香り高きコーヒーをどうぞ
CAFÉ DENEN
4-16 4CHOME OMIYA ASAHIKU
PHONE: 06-951-4545

あなたがお茶を飲みたいと思うとき一度立寄つてみませんか。
coffee TOGETSU
(06) 955-4165